

はくぶつかん

1976. 12. 1

平塚市博物館



— 星空を見上げよう —

寒い夜、窓の外は星空が一年のうちでも一番さえています。思いきつて戸を開け、外へ出てみましょう。南の空を見上げれば、冬の王者オリオンが迎えてくれます。全天で一番明るいおおいぬ座の一等星シリウスや、星が6〜7こもかたまっているおうし座のすばる星団などとてもにぎやかです。限りなく広くふしぎな星の世界をのぞいてみましょう。(Hi)

— 12月行事 —

- 5** 特別展講演会
講師 日野一郎先生(市文化財保護委員)
テーマ 「相模川流域の発掘調査の現状と課題」

午後1時〜2時30分 入場自由

- 19** 体験学習シリーズⅥ7
「ゾウリを作ろう」 最近まで身近なはきものだつたゾウリを、ワラを使って自分の手で作って見る。

科学教室 午前9時〜午前3時

希望者は12月10日まで往復ハガキで博物館へ。多数の場合抽選で20名。

1月行事予定

- 9** 新春特別講演会
テーマ 「相模人形芝居の特徴と観賞」
講師 永田衛吉先生(県文化財保護委員)
2時〜3時 講堂 入場自由
なお特別展示室では、6日〜23日まで「相模人形芝居展」が開かれます。

- 16** 自然に親しむ会
七国峠付近で昆虫や地質を観察
申し込み 往復ハガキで 先着30名

- 21** **28** 体験学習シリーズⅥ8
「貝ガラで作ろう」

- 25** 星を見る会
「木星の観察」

午後5時〜7時 博物館入口前の広場。

曇天・雨天の時は26日に行ないます。

26日も曇天・雨天の時は中止。

申し込み希望 は15日 までに往復ハガキで博物館へ。多数の場合抽選で30名。
なお小学生以下は父兄同伴のこと。

この他に行なわれる行事

- 4** **11** 自然を調べる会
「野鳥観察入門」

- 11** **25** 古文書講読会
毎月2回で1年間受講

1日は鎌倉海岸で貝拾い、1日は貝で道具・おもちゃ・アクセサリーを作ります。
申し込み 1月15日までに博物館へ。
多数の場合は抽選で20名

- 29** 星を見る会「星団の観察」
申し込み 希望者は往復ハガキで1月19日までに博物館へ。多数の場合は抽選で30名。小学生以下は父兄同伴のこと。

博物館休館日のお知らせ
12月27日〜1月4日まで(年末・年始のため)

体験学習シリーズ Ⅵ
「土器を作ろう」より

博物館では毎月1回科学教室を利用して、自然のものを利用して作る「体験学習シリーズ」を行なっています。

先月は「土器を作ろう」というテーマで13・14日の2日間で縄文式土器を作ってみました。

古代人の生活の必需品であつた土器は、表面上何んの変哲もない「かわらけ」に見えます。この土器に隠されている、日常生活から生みだされた土器製作技術を、土器を作ることによつて知りたいと思います。

13日(土) 8皿皿で「土器製作から焼くまで」を映写 ⇨ 特別展示室に行き、出展してある実物の土器の色・形・文様などを細かく観察 ⇨ 自分で作りたい土器写真選び ⇨ 作る大きさの寸法を決める ⇨ 土をこねる ⇨ 輪積してだいたいの器形を作る

14日(日) 器形を作り上げる ⇨ 文様をつける ⇨ 最終的整形を行なう ⇨ 完成

2日間(実動9時間)の行程で、落後する方もなく、参加者全員土器を作り上げることができました。

今回使用した土は、岡崎上ノ入遺跡の土、吉沢のローム、須賀の川砂と若干の粘土をまぜ合わせたものです。粘土だけで作ると思う方が多いと思いますが、土をこねて粘り気のある土でしたら、土器は作れますので、身近にある土を調べて作ってみてはいかがでしょうか。おおかたの土器は土と文様をつける竹とヒモだけで作れます。



作るコツみたいなものは、1.土をよくねること。2.土は長く、太めの紐状にし、輪積すること。3.器壁は厚めに作り、後で削ること。4.整形はていねいにすること。以上の点に注意していただければたいの土器は作れますが、最終的には、物を作り上げるという意欲とか根気が絶対必要です。

参加なされた方々も、それぞれ苦心惨憺して作り上げられ、作り上つた時は、「家の宝物に」とおつしやる方もおられました。

この機会を通じ、少しでも古代人の生活の知恵の豊かさを知つていただけたらと思います。

参加者名

石原直子・中沢保夫・北村敏子・梯昭子・柴田美恵子・大野とく代・大貫令子・丸山裕子・関谷操堀美智子・井上千鶴子(敬称略)

— 屋外展示について —

縄文時代の住居復元

博物館北側の芝生に敷石住居が復元されています。

住居は岡崎上ノ入遺跡で発掘調査された竪穴住居で、石が敷かれていることから一般に敷石住居と原われています。柄鏡の形をしており、柄の部分が入り口と考えられます。大きさは直径5皿で、根府川石が約280個敷かれています。中から、炭化した柱、つぶれた土器、石錘、凹石、すり石などが出ました。

ゆつくりご覧になつて下さい。



● 岩石園「丹沢山塊の岩石」●

博物館では常設展示「石はどこから」に関連して、相模川上流の丹沢山塊の岩石を屋外に展示できればと以前より考えておりましたが、この度、県企業庁総合開発局のご協力によつてそれが実現いたしました。これは現在酒匂川上流に建設されている三保ダム工事区域より運搬してきたもので博物館北側に展示してあります。

はくぶつかん VOL1 Ⅵ7

昭和51年12月1日 通巻7号

発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111

印刷 平塚市総務部行政課文書係

©1976